

池之久保 の正月行事

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

みなさん、正月の準備は進んでいますか？

今回は昭和56年～平成8年にかけて行われた調査（鹿児島大学比較民俗学研究室；下野敏見 他）の報告書（『西之表市の民俗・民具』第1集）をもとに、池之久保の昔の正月行事を紹介します。今はもう行われなくなった行事も多いかと思います。昔を思い出しながら、ご覧ください。

準備

餅つき



12/30ごろに餅をつく。「9」は「苦
労」「苦しみ」につながるた
め29日は避ける。ついた餅
は仏壇、床の間、火の神、井
戸、農具（農機具）
に供える。

三十一日の晩の
ことをトシリノバンという。



門木を立てる

竹、マテの木を縄で巻いて束ねる。

右が種子島伝統の門木。
左は江戸風の門松。



月窓亭の門木

元旦

水をくむ

ダイダイ、塩、焼酎を井戸の脇に供え、一番鶏が鳴かないう
ちに水をくむ。「水を汲まずに、黄金を汲む」といってお金を落と
すことがないように、水は少し汲んで運んだ。

このころに臼おこしがある。子ども達が来たときに餅をあげる。



四日 十一日



鍬入れ

四日は畑の鍬入れ、十一日は田の鍬入れ。ユズリハと
モロバにつつんだ餅を鍬と一緒に持って行く。南を向き、
二かきして焼酎と塩をかけたあと「今日から鍬入れをしま
す」と言う。餅は大切に持ち帰る。

十四日



コノミヤジョウ

大きな餅を小さく切ってコヤスギの枝に刺す。それを火の神、
大黒様、床の間、仏様、門口に二本ずつ刺す。もともとは繭の豊
作祝いだった。ホダレヒキ(=第29号参照)もこの日にする。

十五日

作祝い

集落の人々が公民館に集まり、
祈祷とお祓いをしてもらう。

上西インスタグラム
～新・コンテンツ～
上西小持久走大会



二十日ごろ

しめ縄をはずす

三日ごろ、一度片方をはずす。そして十五
日にまたしっかりはめる。二十日ごろに焼酎
をかけてからはずす。農家の祝いである作祝
いが十五日に行われることと関係している。

上西小学校での
しめ縄づくり

